

海外安全対策情報（2014年1月～3月分）

在ユジノサハリンスク日本国総領事館

1 社会・治安情勢

当地は政治的には安定しており、現在のところ緊急事態に発展するような反政府勢力等の動きは特段見られない。

また当地ではサハリン州が北方領土を「行政管轄」していることから、北方領土問題については、ロシアの他の地域と比較して極めて過敏な反応を示す傾向があり、例年2月7日（我が国では「北方領土の日」）或いは、その日に前後して当館建物前において、北方領土返還反対団体による抗議集会が行われている。なお、本年については同様の集会等は行われていないが、時の日露関係の情勢に応じて抗議集会の程度や規模も異なっており、今後も引き続き注意を要する。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 一般的治安情勢に関しては、殺人や女性などの弱者を狙った路上強盗や住居不法侵入等による窃盗、あるいは銃器を用いた凶悪犯罪、未成年者をも含む女性への婦女暴行、大麻等の薬物所持・売買事案が後を絶たない状況である。殺人は、飲酒によるトラブルに起因するものが多いが、金品の強奪を目的としたものも発生している。当地在留邦人が強盗被害に遭うケースも過去発生しており、引続き当地治安情勢への留意が必要である。

(2) 治安当局の発表によれば、2013年にサハリン州において治安当局が認知し、登録された犯罪件数は12,338件であり、2012年（10,218件）に比較し、2000件強の大幅な増加となった。以下の内訳にもあるとおり、2013年は前年と比べ殺人事件の登録件数は減少しているものの、重度傷害、強盗、薬物違法流通等の主要な凶悪犯罪はいずれも増加しており、強姦罪にいたっては前年の2倍である。その他窃盗、詐欺、粗暴行為についても軒並み増加している状況であり、犯罪登録件数上、当地治安情勢は一昨年から悪化の傾向が継続している。これらの犯罪は在留邦人の生活安全上の直接的な脅威ともなりうるものであり、引き続き当地治安情勢はこれまで以上に予断を許さない状況にあると言える。

(3) 主な内訳（括弧内は前年比）

ア 殺人及び殺人未遂：72件（76，6％）

イ 重度傷害：220件（118，9％）

ウ 強姦及び強姦未遂：12件（200％）

エ 強盗：38件（108，6％）

オ 略奪：425件（108，7％）

カ 窃盗：5299件（128，0％）

- キ 詐欺：709件（154，1％）
- ク 粗暴行為：15件（166，7％）
- ケ 薬物の違法流通：1219件（115，0％）

(4) 邦人被害事案

特になし

(5) 邦人以外の被害事案（殺人・強盗等凶悪犯罪の事例）

ア 強盗

- ① 1月20日，ユジノサハリンスク市在住44歳の女性から，ロシア連邦捜査委員会ユジノサハリンスク捜査局に，自宅が強盗被害にあったとの通報があった。同日女性の自宅に3人の見知らぬ男が強引に侵入し，部屋にあった女性の私物を奪うと共に，うち1人の男は女性に暴行を加えるなどした。更に3人の男は彼女の車を奪ってその場から逃走した。直ちに刑事事件が提起され，その後の捜査により，間もなくユジノサハリンスク市内在住の3人の男が拘束された。
- ② 1月22日，ユジノサハリンスク市警察に，市内の銀行から強盗被害を受けたとの通報が入った。現場に到着した捜査員に銀行職員が説明したところでは，同日12時頃男性が銀行に来店し，ナイフのようなものをかざしながら行員を脅して金銭及び金製品を奪って逃走した。警察は直ちに監視カメラの映像を押収して記録映像を確認した後，犯行を行った男が過去に詐欺の前科を持つ市内在住の男と特定し，男の居場所を確認のうえ，拘束した。
- ③ 2月10日，26歳の女性からコルサコフ市警察に，街中で携帯電話を奪い取られたとの通報があった。その日女性はコルサコフ市内を1人で歩いていたところ，偶然あまり面識のない若い男に声をかけられた。男は酔っている状態だったので，女性は早めに話を切り上げてその場を立ち去ろうとしたところ，それに逆上した男が女性に携帯電話を渡すよう要求し，それを女性が断ると力づくで携帯電話を奪いその場を逃走した。奪われた携帯は約13000ルーブルであった。女性からの通報を受けた警察がすぐさま周辺の捜索を行ったところ男を見つけ出し，強盗の容疑で身柄を拘束するとともに奪われた携帯電話を押収した。
- ④ 2月20日，ウグレゴルスク市で市内在住の48歳の女性が強盗被害にあう事件が発生した。深夜女性は会社の用務で出かけるため家を出て，通りで迎えの車を待っていたところ，突然背後から見知らぬ男にパイプレンチで頭部など体を複数殴られ，地面に倒れたところを手に持っていたバックを男に奪われた。男はその場から逃走した。カバンの中身は書類や携帯電話のほか現金25万ルーブルが入っていた。女性はすぐに警察に通報し，警察官が現場に駆けつけると女性は意識を失い，病院に搬送された。警察のその後の捜査により，強盗犯の居場所が突き止められ，犯行に使用された凶器，奪われたバックとその中身が発見，押収された。また犯人が以前店からアルコール飲料を万引きした余罪があることも明らかになった。犯人は24歳の男で，強盗

の容疑で拘束された後、逮捕された。男は直前まで女性と同じ職場でアルバイトをしていて、当日女性が大金を持って外出することを事前に知っていた。

⑤ 3月13日、ユジノサハリンスク市警察に、未成年の少女から街外れのバス停で強盗被害にあったとの通報があった。警察が直ちに通報のあった場所に駆けつけると、そこには通報者である17歳の少女がいた。少女の説明により、少女がバス停でバスを待っていたところ、少女のポケット部分に何かを感じ、振り向くとそこには男がいて、少女のことにはかまわず、男はポケットの中にある高価な携帯電話を奪おうと執拗にポケットに手を入れてきたので、少女は近くの通行人の注意を向けようと大声で叫んだところ、男は少女の顔を殴ってその場から逃走したことが判明した。警察により周辺を捜索した結果、加害者の男はすぐさま発見・拘束された。男は窃盗の前科を持つルゴボエ地区出身の35歳と判明し、そのまま警察に連行された。

⑥ ユジノサハリンスク市警察は、同市在住24歳の男を複数の犯罪の容疑で拘束した。男は3月13日、ユジノサハリンスク市の行政機関の女性職員を襲った。男はこの女性職員が多額の現金を持っていることを知り、女性が仕事から帰宅する時、女性の跡をつけ、付近に通行人が居なくなる瞬間を狙って彼女に近づき、力づくで持っていたカバンを奪って逃走した。女性は怯えながらもすぐに警察に通報した。なお男が奪ったのは多額の現金が入ったカバンではなく、総額1000ルーブル程度であった。男は本件犯行の他にも多額の現金を狙った強盗傷害事件の容疑がかけられている。

イ 殺人

① 1月8日、ロシア連邦捜査委員会サハリン州捜査局アレクサンドロフスク・サハリンスキー支部に、チェメリヤゼヴァ通4番地所在のアパートの一室で、同室の住人である45歳の男性が、腹部に刺傷のある状態で死亡しているのが発見されたとの通報が入った。男性には同居している女がいて、2人は1月8日自宅で飲酒の後、ベッドで寝ようとしたところ、男性が同居の女に更に1杯酒を注いでくれるよう頼んだが、女がこれを拒否したため、男性は腹を立てて女をベッドから突き飛ばした。すると女は台所に行き、そこから包丁を手に取り、男性の腹部を一突きした。男性はこれによりその場で死亡したものの。

② 1月27日午前1時頃、ロシア連邦捜査委員会ユジノサハリンスク市捜査局に、ノボアレクサンドロフスク地区ジェレズノダロージュヌイ通2番地Aに所在するアパートの一室で体に無数の火傷のある幼児の死体が発見されたとの通報があった。現場検証においては、幼児の死因は判明せず、死体は死因の特定のために死体安置所に搬送された。現在も捜査が続けられている。

③ 2月1日、ユジノサハリンスク市警察アニワ警察署に、ある農場で殺人事件が発生したとの通報があった。通報を受けた警察官が直ちに現場に赴いたところ、そこに同農場で働く47歳の男性が首を切られて死んでいるのを発見した。警察による機動的捜査活動の結果、同農場で働く46歳の同僚の男による犯行と判明し、直ち

に男は拘束された。更に男はこれとは別に窃盗の容疑で捜査対象となっていたことが判明した。

- ④ 2月9日午後2時頃、ユジノサハリンスク市内の復活大聖堂に武装した男が押し入り、その場で持っていた銃を乱射する事件が発生した。これにより、大聖堂の60歳の修道女と1名の教徒の計2名が死亡し、他にその場にいた6人が負傷した。銃を乱射した男は、その場で駆けつけた警察官に身柄を拘束された。拘束されたのは地元警備会社に勤める24歳の男で、犯行の直前まで大聖堂の近隣にある銀行で警備業務に就いていた。事件は多くの人が集まる、日曜礼拝の後に発生した。男は犯行の後、逃げることもせず間もなく警察官に身柄を拘束、後に逮捕されたもの。
- ⑤ 3月5日ネベリスク地区警察に、ネベリスク地区のクズネツォフ岬にて人が行方不明になったとの通報が入った。通報を受けて警察が確認したところ、行方不明者は殺されたことが判明した。殺人の容疑者はすぐに判明した。容疑者はアレクサンドロフスク・サハリンスキー出身の53歳の男であった。男には過去に重大犯罪を犯した前科があった。犯行現場はネベリスク市から約70キロメートル離れた難所で、毎年この時期に特殊車両でのみ往来することが可能なところであった。容疑者は身柄を拘束され、警察署に連行された。また犯行現場からは、犯行に使用された散弾銃が押収された。
- ⑥ 3月23日オハ地区トゥンゴル村にて、地元在住の37歳の男性の焼死体が発見された事件に関し、ロシア連邦捜査委員会オハ地区捜査局は殺人罪の刑事事件を提起した。同捜査局は、過去同様の罪を犯した、オハ市在住の1977年生まれ無職の男を殺人の罪で拘束した。現在男は逮捕、拘留されている。男は3月22日、知人と共にガス供給ラインの中継所近くで車にガソリンを給油していた。そこに被害者の男性が使用者で近づき、知り合いとなったことから、その場で一緒に酒を飲みだしたが、そのうち口喧嘩となり、加害者の男が被害者の男性を殴ってガソリンを掛け、火をつけて焼死させたもの。男は被害者の車に乗って、その場から逃走していた。

ウ 暴行・傷害

- ①〔強姦〕ラズドリノエ村に住む17歳の少女からロシア連邦捜査委員会サハリン州捜査局コルサコフ支部に、強姦の被害にあったとの通報が入った。その後犯行の容疑者として少女の母親の同居人である、前科を持つ38歳の男が拘束された。刑事事件が提起され、男には拘留措置がとられた。男は1月7日夜、自宅で酒に酔った状態で被害者の少女に対して性的暴行を加えたもの。
- ②〔傷害〕1月25日、ホルムスク市警察に、救急救命の医師から胸に万年筆が突き刺さった男性の治療要請を受けたとの通報があった。警察が救急車を通報した住所に赴いたところ、被害男性の息子が庭で近所の子供と遊んでいた際にいじめられ、そのことを息子が両親に訴え、両親はいじめた側の両親に話をしにその子の家に向

かったが、最初は母親同士で話をしたものの互いに罵りあうだけとなり、そのうち互いの父親が階段の踊り場で喧嘩となり、加害者の父親が胸のポケットから万年筆を取り出して、被害者の父親の胸を突き刺したことが判明した。

- ③〔強姦〕 2月8日、ロシア連邦捜査委員会ユジノサハリンスク市捜査局は、市内在住1984年生まれ無職の男を、14歳未満の幼女を強姦した罪で拘束した。男は犯行を否認しているが、男の犯行を示す状況証拠は十分に揃っていることから今回の拘束に繋がったもの。
- ④〔傷害〕 2月6日夕刻、ウグレゴルスク市に住む23歳の女性と22歳の男性のカップルが女性の友人宅を訪れた。その後更にそこに知人の男2人が訪れた。2人の男は乱暴であり、酒を暴飲するので、カップルとその友人の女性はこの2人の男が嫌であった。夜になって、家の住人である女性は就寝し、若いカップルも帰宅しようとしたところ、2人の男のうち26歳の前科を持つ男が、まだ残って一緒に飲もうと呼び止め、しばらくやり取りをしているとカップルの22歳の男性と言い争いとなり、26歳の男がナイフを取り出し男性の胸や腹など数箇所を刺した。女性は怖くなって外に飛び出し、近所の人に助けを求め、警察と救急車を呼ぶと、騒動にまぎれて26歳の男はその場を逃走した。負傷した男性は緊急治療を受けるため直ちに病院に搬送された。現場に到着した警察の機動的捜査活動の結果、逃走した男と他1人は傷害の罪で間もなく拘束された。2人には傷害の前科があった。
- ⑤〔強姦〕 ロシア連邦捜査委員会ドリンスク地区捜査局は、21歳のウズベキスタン国籍の男を強姦の容疑で拘束した。男は3月15日、自宅にブイコフ村在住の13歳の少女を連れ込み、性的暴行を加えたもの。

エ 窃盗

- ① 1月17日、ユジノサハリンスク市内に所在する第7番郵便局から年金支払い用に用意されていた300万ルーブルが何者かに盗まれた。同郵便局が入っているアパートの住人は、不振な物音などは聞いておらず、また当初郵便局の窓やドアには壊されたような痕跡は見当たらなかった。盗まれた金銭は金庫には入っておらず、単に箱に入れられた状態であった。その後新たな捜査で郵便局に侵入した痕跡が見つかり、郵便局職員などの関係者が犯行に関与している可能性を考慮しつつ捜査が続けられた結果、当日のうちに犯人が拘束された。
- ② 1月23日、ポロナイスク地区警察にバフルシェフ村で窃盗事件が発生したとの緊急通報が入った。警察が直ちに機動的捜査活動を行った結果、兄弟である2人の男を拘束した。彼らは他人の別荘に侵入し、そこから食料品の入ったコンテナ、冬用の備蓄品、コンパクトディスクその他財産を盗んだもの。別荘の所有者には既に警察から事実の説明が行われ、後日盗まれたものの一部が発見・押収された。これらは後に所有者に返還されることとなる。
- ③ 1月末日、ユジノサハリンスク市在住の37歳の男性が所有する、高額な外国製

SUV車両が市内のガソリンスタンドで盗まれた。被害者が車でガソリンスタンドを訪れ、ガソリンを給油するため支払いに行く際、鍵を車につけたまま、ドアも閉めずに車を離れたところ、その様子を近くで見ていた31歳の男が被害者が車から離れた隙に、その車に乗り込みそのまま逃走した。男は、その後一時的に住んでいた市内のアパートの中庭に車を止めた。その様子を注意深く見ていた付近の住民が不審に思い警察に通報し、駆けつけた警察により盗難車と確認され、車両は持ち主に返還された。その後2月の初め、警察はこの車を盗んだ男を特定し、窃盗の罪で身柄を拘束した。男は以前にも車両窃盗の罪を犯していた。

- ④ 2月18日夕刻、仕事を終え帰宅のためバスに乗車していたユジノサハリンスク市警察の職員に、同じバスに乗っていた女性が車内で現金1万2100ルーブルの入った財布が盗まれたと通報してきた。また女性は盗んだ相手が車内にいて、誰かは概ね検討がついていると申し立ててきた。警察官はすぐに対応するとともに、このことを通報し他の警察官の応援を依頼した。警察官は被害者の女性と財布を盗んだと見られる女をバスから降ろし仲間の警察の到着を待っていたところ、女は財布を盗んだことを認めこれを返そうとしたが、女性は警察に被害届を出すことを譲らなかった。警察の応援が到着し、28才の女は窃盗の容疑で拘束され、警察署に連行された。
- ⑤ 3月13日、ユジノサハリンスク市警察は警報の作動に基づき、市内のショッピングセンターに向かった。店に到着すると、店員が警察官に36歳の女性を突き出し、この女が昨年12月に同店で8万円のミンクのコート盗んだことを店の防犯カメラが記録しており、その後数ヶ月して再び女が商品を盗もうと同店を訪れたのに、店員が気づいて警報を鳴らした旨説明した。女は今年2月にも他の店で化粧品用品約5000ルーブル分を盗んだ疑いで警察に拘束されていたもの。
- ⑥ 3月14日、ユジノサハリンスク市で年金受給者の銀行カードから40万ルーブルを盗み取った女性が拘束された。29歳の女は、以前市内のスーパーで働いており、その際、近所に住んでいた68歳の老人が良くそのスーパーで買い物をして、その際支払いにカードを使用していたが、決済時の暗証番号入力を自分でできずに、いつもレジの女性に代わりに入力を任せていた。容疑者の女もこれをしたことがあり暗証番号を知っていた。ある日、いつもどおり老人が買い物をした際、レジにカードを置き忘れたことに女が気づき、既に知っていた暗証番号により同カードを使って現金総計約40万ルーブルを引き出したもの。

オ 薬物・銃器

- ① [薬物] 1月某日サハリン州流通麻薬対策局に、ユジノサハリンスク市ミーラ大通239番地にあるアパートの住人から、同アパートの一室で見知らぬ者らが集まって麻薬を造って、吸っているとの通報があった。麻薬捜査官が通報のあった部屋に赴いたところ、そこでは部屋の住人が知人を招き、意識が朦朧とする薬物を造り、

吸引していたことが判明した。薬物は容易に入手が可能な薬剤、溶剤、硫黄等を配合して造られていた。捜査官らは、同所の捜索を行い、異臭を放つ暗褐色の液状物を押収した。またその場に居た者の身体捜索を行った結果、押収した薬物とは別に、コデイン0.23グラム、ジフェニルメタン1.01グラムを発見、押収した。その場に居た者らは身柄を拘束された。

- ②〔薬物〕2月3日、麻薬捜査官らは大麻を自分の体内に隠匿してサハリン州内に持ち込もうとした、サハリン在住の男を拘束した。この数日前、麻薬捜査官らはある男が大量の薬物を州内に持ち込もうとしているとの情報を得ていた。捜査員はユジノサハリンスク空港で数時間に渡りウラジオストクからの飛行機の到着を待ち、ついに捜査員が待ち伏せていた男が現れ、その数分後男は捜査員に身柄を拘束された。捜査員が男の身体捜索を行ったところ、上着の袖から袋が落ち、その中には暗褐色で粘土質の固形物が小分けにされた袋が複数入っていた。これらは鑑定のため押収された。後にこれらの押収物は大麻オイル132グラムと判明した。男によれば、大麻オイルはウスリースク市で手に入れ、販売目的で空路サハリンに持ち込もうとし、その際空港の手荷物検査場で見つからないように、あらかじめこれを自身の肛門内に入れて隠匿した由。また、男の逮捕の際、男と接触した男の「顧客」も同様に拘束した。この「顧客」の住宅を捜索したところ、部屋の中から大麻オイル12グラムを発見し、押収した。
- ③〔銃器〕2月5日オハ市警察に、市内のカフェで何者かが銃を発砲したとの通報があった。直ちに警察官が現場に赴き状況を確認したところ、数時間前ある男が友人とこのカフェを訪れたが、既に2人は酒に酔っていて、席についても注文をしないまましていると、しばらくして店員から注文しないなら店から出るよう言われ、ようやく何かしら注文しようとメニューを見ると、高額な価格に怒って騒ぎ出し2人ともそのまま店外に出て行ったが、男はこのカフェの店主を懲らしめようとして、友人を連れて自分の家に行き、自宅に保管していた猟銃を持って再びカフェに戻り、カフェの入り口を猟銃で撃ったものと判明した。男は猟銃を今年の夏に森の中で偶然拾い、そのまま自宅で不法に所持していた。
- ④〔薬物〕3月5日、サハリン州内務局はインターネット通販で不法な薬物を入手した23歳のユジノサハリンスク市在住の男を拘束した。警察によると男はインターネット上で不法に薬物を販売している者のネットワークを見つけ連絡をするとすぐにネットワークから返事が届き、簡単なやり取りの後、男へ電話番号が伝えられた。その電話番号へ一定の金額を支払うことが必要だった。男が同番号へバランスを必要分入れたところで、男に電話が来て、薬物の受取場所を指示された。男が同所に向かい、薬物の入った袋の受取が行われたところで、ユジノサハリンスク市警察が男を拘束したというもの。押収された薬物を鑑定した結果、男が購入したのは、向精神性の合成麻薬0.54グラムであることが判明した。

⑤〔薬物〕 3月26日、サハリン州流通麻薬対策局に、郵便局に薬物の入った郵送物が投函されたとの通報があった。同局捜査員が機動的捜査活動により、間もなくユジノサハリンスク市内の郵便局で暗色の物体の入った封筒を発見・押収した。押収物を鑑定した結果、同押収物は大麻オイル合計2グラムであることが判明した。この薬物の入った封筒はハバロフスクからユジノサハリンスクに届いたもので、その後更に択捉島「クリリスク」へ送られる予定であった。麻薬捜査官らは「死の商人」の麻薬流通の試みを阻止することに成功した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

5 日本企業の安全に係る諸問題

特になし